

# ひきくよう



目次

◎表紙			
今年の抱負	..... P2	研修報告	..... P20
定例会・臨時会	..... P3～4	議会の活動状況	..... P21～22
一般質問	..... P5～17	二十歳の声	..... P23
常任委員会報告	..... P18～19	Tea Time	..... P24

# 2024年 今年の抱負



**福島知雄**

人と人が共に助け  
合い支えあえる町  
づくり



**坂本秀則**

町民の利益に繋がる  
政策を提言して  
まいります



**小林くみ子**

くらし・子育てで  
応援誰もが大切に  
される町を



**上田茂政**

町民の声に傾け開  
かれた町政を目指  
します



**甲斐榮治**

発展の中核地の議  
員として責任を果  
たします



**佐藤竜巳**

町民の暮らしに寄  
り添い魅力的な町  
作りを



**布田 悟**

辰年男の72歳です  
が不惑の道は続  
きます



**岩下和高**

新しくなる菊陽町  
でしっかりとした  
仕事をする



**中岡敏博**

皆様のため、安全  
安心のまちづくりに  
前進



**佐々木理美子**

住んでよかったと  
思える町づくりを  
皆さまで



**西本友春**

皆様が安心して暮  
らせる町を目指し  
ます



**大久保輝**

安心して暮らせる  
まちづくりに取組  
みます



**矢野厚子**

先人からの伝統を  
守り最前線のまち  
づくり!!



**廣瀬英二**

近未来への菊陽町  
総合計画策定に全  
力傾注!!



**馬場功世**

「住みやすい町・  
菊陽」を目指して  
発言を続けます



**藤本昭文**

菊陽町民のため、  
最大限の発展を目  
指します



**吉村恭輔**

高齢者福祉の充  
実・子育て世代の  
負担軽減



**鬼塚 洋**

町民への情報発信  
と議会の認知度の  
向上!

# 令和5年第4回菊陽町議会定例会 12月5日～15日

## 付議事件

- ◇承認第8号 専決処分の承認を求めること（令和5年度菊陽町一般会計補正予算（第5号））
- ◇報告第18号 専決処分の報告（物損事故による損害賠償の額の決定及び和解）
- ◇議案第58号 菊陽町職員の定数条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第59号 菊陽町企業版ふるさと納税基金条例の制定
- ◇議案第60号 菊陽町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第61号 令和5年度菊陽町一般会計補正予算（第6号）
- ◇議案第62号 令和5年度菊陽町介護保険特別会計補正予算（第2号）
- ◇議案第63号 令和5年度菊陽町下水道事業会計補正予算（第2号）
- ◇発議第10号 認知症との共生社会の実現を求める意見書（案）
- ◇発議第11号 パンデミック条約締結及び国際保健規則改正に係る情報開示を求める意見書（案）

## 付議事件（追加）

- ◇報告第19号 専決処分の報告（道路管理の瑕疵による損害賠償の額の決定及び和解）
- ◇議案第64号 菊陽町手数料条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第65号 菊陽町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第66号 半導体関連産業の集積に伴う特定公共下水道の設置に関する協議
- ◇議案第67号 公の施設の他の団体の利用に関する協議

報告第18号専決処分の報告（物損事故による損害賠償の額の決定及び和解）

**Q** 事故を起こしても、保険から賠償されることから、安易な気持ちで運転しているのではないかと。町長は公用車運転に対して、厳しく指導するべきではないか。

**A** 菊陽町全職員を挙げてもう一度注意喚起を行う。

議案第61号  
令和5年度菊陽町一般会計補正予算（第6号）

**Q** なぜこの時期に総合交流ターミナル「さんふれあ」の利活用というものが出てきたのか。

**A** 総合体育館にジムとスタジオの機能があり、総合交流ターミナルのジムと類似する機能である。一定期間は平行した運営を行い、状況を見て集約の判断を行いたい。業務委託は入札で行うのか、それともプロポーザルを考えているのか。

**A** プロポーザルで検討している。

**Q** 利活用の検討では、人事配置も含めて変わる可能性があるのか、この計画は「さんふれあ」と共有されているのか。

**A** 「さんふれあ」とも十分話し合い、共有している。



**Q** スポーツ施設基本設計業務委託料5,000万円の内訳は。

**A** 役場西側の町民グラウンドの移設及び町民が楽しめる総合運動公園の整備を考えている。その骨格となる施設の配置計画、形状、植栽等について概略の設計を行う。

発議第11号

パンデミック条約締結及び国際保健規則改正に係る情報開示を求める意見書(案)

**Q** パンデミック条約は、まだ確定した正文がない段階にも関わらず、国民にどういうふうに知らせるのか。  
**A** 確定したものは無い状態だが、現在どういった交渉が行われているか、現在どういった案があるのかについて、今の時点で周知してもらいたい。

## 議員の賛否を公開します

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 除は除斥 欠は欠席 早は早退

議案番号等	結果	表決数		鬼塚	吉村	藤本	馬場	廣瀬	矢野	大久保	西本	佐々木	中岡	布田	佐藤	甲斐	岩下	上田	小林	坂本
		賛成	反対																	
発議第11号	否決	6	11	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	○	●	○	●	●	○

結果は、可決・否決・同意・適任・採択・不採択・承認・認定・継続審査 ※報告は採決がないため削除  
 ※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。  
 ※賛否の分かれた議案のみを掲載しています。(それ以外は原案のとおり可決)

## 令和5年第3回菊陽町議会臨時会 10月30日

- ◇報告第15号 専決処分の報告 (工事請負契約の変更 (菊陽杉並木公園拡張整備外周園路整備工事))
- ◇報告第16号 専決処分の報告 (物損事故による損害賠償の額の決定及び和解)
- ◇報告第17号 専決処分の報告 (物損事故による損害賠償の額の決定及び和解)
- ◇議案第56号 工事請負契約の締結 (菊陽空港線堀川<sup>かんきょ</sup>函渠構造物基礎工事)
- ◇議案第57号 工事請負契約の締結 (菊陽町図書館ホール音響設備更新工事)

報告第15号専決処分の報告(工事請負契約の変更(菊陽杉並木公園拡張整備外周園路整備工事))

**内容** 工事内容の一部を変更する必要が生じたため、工事請負契約を変更。151万8,991円の増額

報告第16号専決処分の報告(物損事故による損害賠償の額の決定及び和解)

**内容** 公用車の物損事故において、示談交渉和解成立  
 損害賠償額1万9,800円

報告第17号専決処分の報告(物損事故による損害賠償の額の決定及び和解)

**内容** 公用車の物損事故において、示談交渉和解成立  
 損害賠償額19万円

議案第56号工事請負契約の締結(菊陽空港線堀川函渠構造物基礎工事)

**内容** 菊陽空港線の整備計画に伴い、道路が堀川を横断するところに函渠構造物を設置するための基礎工事  
 工事費、条件付一般競争入札、2億1,065万円

函渠構造物  
 [ボックスカルバート]  
  
 函渠とは、コンクリート製された水路などの役割を果す。

議案第57号工事請負契約の締結(菊陽町図書館ホール音響設備更新工事)

**内容** 菊陽町図書館ホール音響設備の老朽化により一部故障が生じているための更新工事  
 工事費、指名競争入札、6,597万円  
 議案56、57号は原案のとおり可決

# 町の考えを問う 一般質問



よしむら きょうすけ 給食費・副食費の無償化を早期に開始  
吉村 恭輔 すべき …P 6

ばば こうせい 総合運動公園の整備計画はあるのか  
馬場 功世 …P13

うえだ しげまさ 電気柵の導入による防獣対策について  
上田 茂政 問う …P 7

ふた さとる 国民保護法に基づく当町の取り組みは  
布田 悟 …P14

にしもと ともはる 令和6年度の中代団地の改修計画は  
西本 友春 …P 8

おにつか よう 本町独自で防犯カメラを直接設置すべ  
鬼塚 洋 き …P15

ひろせ えいじ JASM前の県道大津植木線の多車線化  
廣瀬 英二 完成目途は …P 9

ささきりみこ 菊陽町の灌水の計画はどのように考え  
佐々木理美子 ているのか …P16

やの あつこ がん治療で外形的変化を受けた人のサ  
矢野 厚子 ポートは …P10

こばやし こ 給食無償化について、今後どう進めて  
小林くみ子 いくのか …P17

かい えいじ 第7期総合計画の主なコンセプトは何  
甲斐 榮治 か …P11

ふじもと あきふみ 町は防災機関・団体の、連携の要とな  
藤本 昭文 るべきでは …P12

一般質問は会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で校正し、掲載しています。

Q 給食費・副食費の無償化を早期に開始すべき

A 令和7年度より給食費・副食費の無償化をスタートする



吉村 恭輔 議員

QRコードで録画放送を視聴できます。



Q 昨今の物価高騰は家計を圧迫している。町長の提言の中に「ふるさと納税を活用して給食費・副食費の無償化」と書かれていたが、ふるさと納税で給食費・副食費を賄うには、まだまだ時間がかかると予想される。子育て世代の負担を軽減するためにも、しっかりと予算化し早期に給食費・副食費の無償化を開始すべきと考えるが、町はどのように考えているのか。

A 給食費・副食費は、今年度より月額千円の補助を行っている。これとは別に食材高騰対策として、国・県の交付金を活用して小学校1人当たり480円・中学校1人当たり月額510円・副食費は1人当たり月額200円の補助を行い給食費を値上げすることなく徴収額を保っている。給食費・副食費を無償化した場合、約3億円の財源の確保が必要で現段階では財源を全額確保するのは困難な状況である。

令和6年度においては、できる限り保護者の負担を軽減できるように、今年度より手厚い支援を考えている。

給食費・副食費の無償化は税金が大きく見込める令和7年度からスタートする。

Q フリースクールの設置や誘致はできないか。

A 町で設置する事はできない。



Q 公民館の建設を希望している新町西区での進捗状況や問題点は。

A 新町西区では用地確保が難航している。



Q 将来的に消防団を維持するために分団の再編等の考えは。

A 今のところ再編は考えていない。

Q 地域によって消防団のなり手が少ないという話や、職業の多様化により火事等の災害時に集まる団員が少ないという話を聞いている。将来的にも消防団を維持するためにも分団の再編等も含めて検討するべきではないか。

A 現在、団員の少ない班では操法大会に2班合同で出場するなど消防団活動で連携、協力した取り組みも行われており、今のところ分団・班の再編成は考えていないが今後、団員不足により消防団活動に支障が生じるになれば、分団や班の再編成も検討する必要があると考える。



Q 菊陽町内の小・中学校において100名の不登校または不登校と思われる生徒・児童がいるとの事だが、不登校の生徒・児童に対し学習やカウンセリング等ができる場所を提供するためにも、フリースクールの設置や誘致をすべきと考えるが、町はどのように考えているか。

A 学校の設置は学校教育法で定められている。フリースクールは文部科学省が定める学校機関ではないため、町がフリースクールを設置する事はできない。

Q 行政区で新町西区が建設希望、光の森2町内自治会が自治会内で検討中との事であるが、建設を希望している新町西区においての進捗状況や問題点は何か。

A 新町西区においては、戸建て住宅やマンション建設などの需要が高き地域であり、空いている土地が少ない等の問題により用地取得の見込みが立たない。町としても建設用地の貸付制度の案内や、候補地の地権者との交渉に同席する等、協力をしている。引き続き公民館建設に向けて可能な限り支援をしていく。

Q 電気柵の導入による防獣対策について問う

A 有害鳥獣の被害防止対策の有効な手段の一つであると考えてる



上田 茂政 議員



Q 有害鳥獣被害の現状は。

A 平成27年12月から熊本県猟友会大津支部へ有害鳥獣駆除業務を委託し、鳥獣害の駆除事業を開始、駆除実績は、平成27年度から令和4年度イノシシ28頭を捕獲し、年間、シカ10頭程度、イノシシ4頭程度の実績であり、令和5年度は、10月末現在でシカ14頭、イノシシ7頭を捕獲しており、シカ、イノシシ共に年間平均の捕獲頭数を上回っている状況である。

Q 地域連携による対策は。

A 侵入防止柵の設置を、これまでの単体農地での取り組みから、3戸以上の農業者で組織する団体が3筆以上の連続した農地へ設置する侵入防止柵を補助対象に追加し、補助率を5分の4まで引き上げるよう要綱改正し、農業者へ事業説明会を開催した。

Q 本町の高齢化率は、全国的には低い方だが、今後の高齢化、高齢人口の推移は。

A 高齢者数の増加ペースは、2035年度までは、毎年100人強で増加、2036年度〜2045年度までは、毎年、200人程度で増加する見込み。2046年度以降、毎年、150人程度に落ちるが、2050年度の高齢化率は25・2%になり、本町の総人口の4人に1人が高齢者になる推計となっている。

Q 第9期菊陽町高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定における、課題と取り組みは。

A 特別養護老人ホーム等、従来の介護サービスに加え、有料老人ホームなども含めた効果的な介護基盤の整備の検討を行う。その際は、有料老人ホームなど高齢者向け住宅の設置状況を把握する。在宅サービスの充実を図る観点から、必要なサービスに柔軟に対応しやすい地域密着型サービスを地理的配置バランスも勘案し整備を検討する。

令和6年2月から、民間主導の整備による新たな有料老人

ホーム、旧武蔵ヶ丘第二保育園跡地の地域密着型サービスが開所予定。南部地区、東部地区に本町主導で介護基盤の整備を行う場合は、同地域に、新たな用地確保が必要のため、令和6年度から令和8年度までの第9期計画期間中の整備は困難な見込み。



響を及ぼすようなことはないと考えている。

Q 将来負担比率の推移、今後の計画について。

A ごみ処理施設の整備にかかる地方債の増加などで、令和2年度に10・5%となり、令和4年度においては、20・1%となっている。

今後の計画で、将来負担比率に影響を及ぼすものとしては、交通渋滞対策や学校等施設の整備、その他、住環境の整備などがある。中期財政計画による財政収支見通しを踏まえ、計画的に進めていくので、今後、将来負担比率が大きく増加し、将来世代の負担が過度となることはないと考えている。

Q 財政硬直化について問う。

A 経常収支比率については、平成30年度、令和元年度で90%を超えているような年度もあり、令和4年度の数値が前年度比で増加しているが、財政の硬直化が特に進んでいる状況というところではない。計画的に進めていくので、今後、財政の硬直化が進み、行政サービスの提供に影

Q 令和6年度の中代団地の改修計画は

A 社会資本整備総合交付金を活用して改修工事に着手できるよう取り組む



西本 友春 議員



Q 令和4年9月の一般質問では、令和5年度の計画見直しの際に他の未改修である馬場団地、入道水団地と共に改修対象として位置づけることになる予定で、令和6年度以降に改修工事を計画できないか検討を進めるとの回答だったが、令和6年度の中代団地の改修計画はどのようになっているのか。

A 来年度の国の社会資本整備総合交付金を活用し、改修工事に着手できるよう、取り組みを進めている。5年毎に見直しが必要である菊陽町営住宅長寿命化計画において改修対象の団地として位置づけるため、年度内に策定できるよう見直し作業を進めている。改修等の具体的な計画についても実施設計を進めており、総事業費の算定など、検討を進めている。入居者への説明会の開催などしっかり進め、来年度改修工事に着手できるよう取り組む。

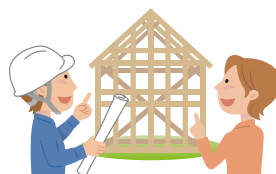
Q 全戸を改修する計画か。

A 改修計画に当たっては、現時点では56戸のうち44戸を改修し、12戸を解体する計画である。

Q 物価高騰で改修後に大幅な家賃変更等への対策はどのような

に考えているのか。

A 現在入居者の家賃が増額となることから、建て替えか改修か、家賃の試算を行なった結果、建て替えは2倍以上、改修は約50%から60%の家賃増となったため、入居者への負担増加に配慮し、改修に決定した。



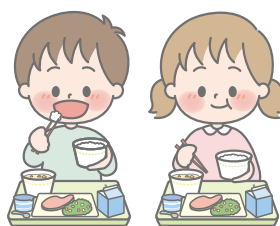
Q 給食費・副食費の無償化に向けた行政手続きは。

A 人員を増加して、無償化が円滑に進む体制で臨む。

Q 7年度からの無償化に向けた行政手続をどのように進めるのか。

A 現在、12の市町村で無償化が行われているが、人口規模が小さかったり、児童数が少ないところが無償化に踏み込まれていく傾向である。またセンター方式で取り組んでいる市町村、一部、自校とセンター方式を取り組んでいる市町村があるが、殆どセンター方式で行っている

市町村が多いが、菊陽町は自校方式をこれからも進める。今後、6年、7年、他の自治体が仮に無償化を行わなかったという前提だと、菊陽町の児童数が今、小学校、中学校、約4,500名以上なので、児童数の最も多い市町村になる。



Q 公共施設におけるAED装置の操作演習を。

A AED操作も含めた、救命救急講習を定期的にも実施。

Q 町にはAEDの訓練筐体が4体あり、各センター等からAEDを持参して操作演習することとでいざと言う時、救命活動に役立てることができるので公共施設においてAEDの操作演習を定期的にも実施することを提案。

A 各施設において突然、心肺停止等の事案があった際に、消防署へ通報し、救急隊が到着するまでの間、施設職員が心肺蘇生やAEDを効果的に使用して

救命措置を行うことにより、救命率を向上させることにつながる。今後はAED操作も含まれた、内容の充実する救命救急講習を定期的にも実施する。

Q 消防団積載車へのAED配備を提案する。

A 現在のところ、消防団積載車にAED配備は考えていないが、今後消防団との意見交換を行っていく。



その他の質問

- ・ 公共施設の予約
- ・ 高齢者のための新たな居住空間の提供
- ・ 書かない窓口の進捗状況
- ・ 行かない窓口の推進
- ・ 施設管理の一元化（駐車場管理の一元化）



**Q JASM前の県道大津植木線の多車線化完成用途は**

**A** 都市計画決定後の事業認可の手続の際に示されるものと考えている



廣瀬 英二 議員



JASM前の県道大津植木線

**Q** 抜本的な渋滞対策として道路整備事業の説明を受けたが、完成年度が示されていない。熊本地震で崩壊した設備の復旧工事は、北側ルート建設、立野阿蘇大橋の建設など地震発生から5年で完成している。今回の道路整備事業はTSMC進出に伴う国家戦略の事業である。完成はいつ頃になるのか。

**A** 都市計画決定後の事業認可の手続きの際に示されると考えている。

**Q** 菊陽空港線の立体交差完成はいつ頃になるのか。また、残り2つの立体交差点は優先順位をつけて進めるのか。

**A** 県と協議を進めているところであり、現段階では何も決まっていない。

**Q** 渋滞対策の取り組みについては、セミコン通勤バスの増便、企業の時差出勤等の実施により、効果が出ている。セミコン内には約20社あるが、時差出勤などの拡充は。

**A** この取り組みは非常に重要であると感じているが、全部行ったら、逆効果になる可能性もある。セミコン協議会のなかでバランスを取りながら実施されるものと認識している。

**Q** 西花立地区から試行的に運行されるセミコン通勤バスの乗車推進の取り組みは。

**A** 企業、県、周辺市町、バス事業者などと連携して渋滞対策の事業について各種実証実験などをを行い、効果の高い事業の実施につなげていくべきと考えている。



**Q** コロナ禍は地域活動等に大きな影響を及ぼした。自治会運営を担う区長・自治会長の業務を町はどのように把握しているか。

**A** 地域コミニティーの維持に大変苦労をされていると聞いている。行事の多くが中止になるなど、地域の連帯感が薄れてしまいう状況を支援するため、令和4年度から地域行事再開支援事業補助金の制度を設け、実績報告などにより地区の行事や活動などを把握している。その他にも日頃から地域住民からの様々なお困りごとの相談など業務は多岐にわたり、地域の自治会活動を支え、地域と町のパイプ役として重要な役割を担っていただいでいる。

**Q** 区長・自治会長の行政事務委託のあり方について町の考えは。

**A** 自治会における活動や行政事務委託の業務などで、負担が大きいため、後継者を探るのが容易でないという課題も認識している。なり手不足解消に向けた協議を開催し、区長会役員と事業担当課とで課題となる現状の聞き取りや改善策について協議を行ってきた。実施でき

るものは来年度から、課題の中には行政事務委託料の処遇改善も掲げてあり、来年度において引き続き協議を進めていく。

**Q** 敬老会対象年齢は、70歳以上であるが、補助金要項ができた当時と比べると健康寿命が顕著であり、70歳を超えても現職で頑張っている人が多い。75歳以上に見直す考えは。

**A** 敬老会対象年齢を来年度から75歳以上に引き上げる方針である。但し、行政区によっては、75歳以上が10人に満たないところもあり、各行政区の判断で対象者を75歳以上にしても差し支えないとする経過措置を当分の間設ける考えである。



Q がん治療で外形的変化を受けた人のサポートは

A 県の6年度中に実施検討中の動向を注視して積極的に対応する



矢野 厚子 議員



Q がん治療のために外形変化を受けた人の生活の質の向上のために、医療用のウィッグや乳房補正下着の助成はできないか。

A 県がアピアランスケア用品の助成を6年度中の実施に向けて検討中であり、町としてはその動向を注視して積極的に対応する。

Q 全国でピンクリボン温泉 ネットワークというのがあり、乳がん用の下着を身につけて入れる温泉がある。熊本ではまだなく菊陽町でも先がけて、皆さんの湯を入れるようにできないか。

A この場で「できるできない」の即答はできないが、理解して、今後しっかりと議論していく。



Q 言語障害のある子どもの早期発見と訓練について。

A 応じた教育をおこなう。

Q 言語障害のある子どもの早期発見につながる健康診断と診断結果後の訓練場所はあるのか。

A 幼児期の健康診査として1歳6か月と3歳児健康診査を実施。相談窓口として健康保険課や福祉課で対応。必要に応じて医療機関や訓練できる施設を案内している。療育が必要な子どもは障害児通所支援事業支援サービスが受けられる。

学校教育の場合、気になる児童については学校内で情報を共有し、保護者と面談したり、子どもも総合相談室により観察する。その上で障害の起因を判断し、それに応じて発音発語の指導を行う。現在町では、言語障害通教指導教室を設置していないが、今後、児童・生徒の状況や保護者の要望と必要な生徒が複数いた場合は教育支援委員会の審議を得たうえで県に要望していく。

Q 日本語を母国語としない人への対応は。

A 令和7年度のリニューアルに向けて取り組んでいく。

Q 日本語を母国語としない人への対応は。

A 令和7年度のリニューアルに向けて取り組んでいく。

Q 日本語を母国語としない人とのコミュニケーションについて、役場窓口の住民票等の書類は改善されたか。

A 各課で使用している書類は相談窓口の相談員が翻訳したものを作成し、行政サービスの周知を行っている。

Q 記入見本はどこにあるか。

A 記載台にスペースを作り早く急に記入見本を配置する。



Q 町の広報誌やホームページについて、日本語が読めない人に対応して改善を考えているか。

A ホームページはソフトの翻訳機能である程度可能である。広報誌もホームページに掲載のデータをソフトで読めるが、ホームページの契約期間が令和6年度末までなので、7年度のリニューアルに向けて新しい技術の導入などを取り組んでいく。

Q 障害や高齢化で身体が思うように動かせない人も楽しめるeスポーツを常時できる場所の設置は考えているか。

A 常設でeスポーツができる場所を設置した場合は、移動に制限がある高齢者等に移動の間が発生するので、会場を常設する考えはない。現段階の計画では、基本的にはふれあいサロン事業や、障害の施設でできないか、検討している。

Q eスポーツについて。

A ふれあいサロン事業などで検討している。



その他の質問

- ・町の安全管理
- ・庁舎内や保育園の安全管理
- ・職員の勤務中の安全管理

Q 第7期総合計画の主なコンセプトは何か

A 8つの政策分野を柱に、これまでのまちづくりの総仕上げをはかる



甲斐 榮治 議員



県は指導助言・土地利用

Q 土地利用について熊本県の検討状況を把握しているか。

A 県は半導体拠点推進調整会議を設置したが、「基盤整備がおこなわれていない農用地に、進出企業や住宅を集約・誘導する」ことを目的としている。計画を立案するのは市町村であり、県は農業振興と企業進出の両立をはかる観点から、土地利用調整の支援や指導・助言をおこなう性質のものである。

Q 町から要望を出したことがあるか。また今後はどうか。

A これまでに2件あり、今後とも相談をする。

Q 農地転用に関わる期間を短縮できるのか。

A 地域未来投資促進法作成の中でその期間の短縮が議論されている。



12月稼働・JASM新工場

Q 経済安全保障にも関わる優良農地保全と、TSMC進出に象徴される開発行為のせめぎ合いは、菊陽町のような立地条件にある地域にとっては避け難い問題である。

A この時にあたって、町長は第7期総合計画を作るという英断を下したが、その主な柱・コンセプトは何か。

8分野の公約を盛り込む

A 私が政策提言に掲げた8つの政策分野を柱として、富永元町長が作り、後藤前町長が引き継いだ総合計画の総仕上げが今回の第7期総合計画だと考えている。

Q 「①緑の中に職住が近接した生活都市を作る②独自の顔を持つ町を作る③活力ある諸産業を持つ町を作る④住民のために住民が手作りをする自主自立の精神を持った町を作る」の総仕上げにかかるといことを確認したが、計画策定を業者に委託するのか。

A 諮問機関として、町議会議員や外部有識者などで構成される総合計画策定審議会を設置する。内部的には副町長を委員長とし、課長以上を結集した総合計画策定委員会を設置する。年度内に町民アンケート調査

をおこない、来年度は町民座談会も実施する。各方面の意見はしっかり集約した上で最終案を令和7年3月には議会に上程する。ただ計画策定にはかなりの事務作業も発生する。基礎調査の整理・分析や人口推計、各会議の運営支援、素案の作成支援等は策定業者に委託する予定である。

Q 総合計画策定委員会のメンバー構成をさらに詳しく説明してもらいたい。

A 委員は、学識経験者、大学の教授、議会の正副議長、企業の代表者、区長会・地域女性の会・老人クラブ連合会・PTA連絡協議会・商工会の会長、各種団体の代表、公募委員等を予定している。

対話こそ信条——町長

Q 町民が町政に参画することについて、町長はどう考えているか。また対話集会が効果的だと思いが、どうか。

A 町民の皆さんと一緒に町を作っていくのが私の信条である。菊陽町にお住まいの皆さんが心を満たし、人生を楽しむために、町の魅力を高め、人々が感動を分かち合い、満足のいく未来となるよう、対話を通して、その実現をめざす所存である。

多文化共生には多彩な施策

Q 菊陽町には、1,000人近くの外国籍の人たちが居住しているが、多文化共生のために町は何をしているか。

A 多文化共生連絡会議を3月に設置。7月には台湾宝山郷と友好交流協定を結んだ。外国人相談窓口も設置。通訳コールセンターを活用し、およそ20カ国語に対応する多言語通訳サービスの導入、外国人生活ガイドブックの作成、ゴミ出しルールなどのリーフレットの多言語化をおこなった。将来的には、国際交流協会の設置に向け、検討を始めている。



対話集会「聴く耳」重視

Q 町は防災機関・団体の、連携の要となるべきでは

A 防災関連団体の連携は取れていると断言する



藤本 昭文 議員



Q 防災力向上のためには、平時から、防災に関わる機関・団体の連携が重要だと考えるが、現状は、十分連携できているとは思えない。

A 災害時、各機関・団体が機能的に連携し、被害を最小限にとどめるためには、町が主体となり、様々な災害を想定した連携について、各機関・団体に対して指導や助言を行い、全体をコントロールできる体制づくりが必要だと考えるが、町の考えはどうか。

Q 関係団体との連携が取れていると断言する。防災力向上のためには、関係機関等と日頃から連携を図る関係づくりが必要と考えている。

Q 防災に関わる機関・団体との連携は取れているとの回答だが、自主防災組織を作っておられる行政区・自治会の役員さんからは、組織は作ったものの、災害時の役割分担が分らないとの声も多数お聞きするが、町では、自主防災組織をはじめ、各関係団体に対して、災害時の役割分担や平時の訓練などについても指導や、相談などを行っているのか。

A 防災会議など各団体の方に集まってもらい、災害時の対応については話をしている。また、自主防災組織の活動について疑問をお持ちの地区もあるので、相談を受けた場合は、助言を行っている。



Q 消防団の維持と団員の確保の取り組みは。

A 消防団と協力して団員の確保に努める。

Q 町長は、72の政策提言の中で、消防団応援の店なる政策を掲げているが、その進捗状況はどうか。

全国的にも消防団員の減少は、

非常に大きな問題とされている。地域防災の要と言える消防団が全国では、この10年で10万人減少し、80万人を割り込んでいる。菊陽町においても、消防団員不足は顕著なものがあり、定数460名に対して362名と、実に98名の不足が生じている。

そんな中、町長が提唱する「消防団の店」には、大いに期待しているところだが、その進捗状況はどうか。

A 消防団員の確保が大きな課題となる中、地域ぐるみで消防団員を応援する取り組みとして、町長の72の政策提言の中で、菊陽町消防団応援の店を掲げている。現在、実施要項の作成に取りかかっているところで、先にスタートした菊陽町ロアソン熊本応援キャンペーン事業に協力いただいた、菊陽町商工会や町内の各事業組合にも事業説明を行い、賛同団体を募っていく予定としている。

Q ロアソン応援キャンペーン事業は、ロアソン熊本の公式戦日程に合わせた、不定期での開催だと思うが、菊陽町消防団応援の店事業は通年での実施が必要と考える。また、この事業について、賛同団体の協力のみで

実施するのか、町が予算を確保し、町の事業として実施するのか、町の考えはどうか。

A 消防団応援の店というのは、通年で行うべきだと考えている。また、この事業については町の負担ではなく、賛同いただく店舗の努力でやっていただくべきだと考えている。もちろん啓発などのサポートは行う必要があると考えている。



Q 総合運動公園の整備計画はあるのか

A 菊陽杉並公園に周辺にスポーツ施設やグラウンド整備を考えている



馬場 功世 議員



アーバンスポーツ

Q 町長は、町民が楽しめる総合運動公園の整備を提言されているが、整備計画があるのかあるとすれば、どのような運動公園を考えているか。

A また、せっかく作るのであれば、スケボーやロッククライミングなど多種多様なスポーツがあり、オリンピックでも取り入れられている競技もあることから、オリンピックとは言いながら全国大会ができるような施設を考えてもらいたい。

A 誰もが住みやすい豊かなまちづくりのための憩いの場としての拠点として、菊陽杉並木公園周辺にスポーツ施設やグラウンドを整備したいと考えている。今後都市再生整備計画に基づく交付金を活用して整備を進めていく。

都市整備計画については、国と協議していくところであり施設の中心についても協議中である。菊陽町は、観光施設が非常に少ない、スポーツツーリズムも立派な観光資源であり観光資源をぜひ菊陽町に呼び込んでいきたいと思っている。

Q 鼻ぐり井手のボランティアガイドの皆さんが見学者の方から何か記念になるものはないかと尋ねられることが多いのとことから、鼻ぐり井手の見学者に対して記念品や土産品の開発は考えていないか。

A 正式には、馬場楠井手鼻ぐりである。通称この鼻ぐり井手は、農業用かんがい施設として、世界かんがい遺産、施設遺産として登録され、大変注目されている。鼻ぐり井手の文化財としてのPRや認知度向上においては、ボランティアガイドの皆様との丁寧な説明、鼻ぐり井手交流センターにおける見学、パンフレット配布などによって進められている。

また、特産品とした記念品、土産品の開発には、一定の費用やマンパワーが必要となる。需要が確保できなければ赤字になる。販売方法や販売場所なども

課題であり、現時点では、鼻ぐり井手に特化した記念品や土産品の開発は考えていない。町全体として土産品など特産品は考えている。

Q 以前有名な人が描かれたイラスト入りのニンジン焼酎が販売されていたがいつのまにか消えてしまった。もう一度復活できないか。

A 今農政課では、「ごろっと！にんじんカレー」を開発した。年々味を改良して、食べやすく、おいしいものに変えている。特産品の開発については、菊陽町をPRする商品をPRするには必要と考えている。

Q 鼻ぐり井手の見学コースについてイベント等でボランティアガイドの皆さんが丁寧に説明をされているが、危険箇所の整備と樹木が非常に繁茂しており伐採できないか。

A 見学コースの中で中須山については安全上の問題を考慮し、イベント時の限定的開放や要望があったときボランティアガイドによる引率を伴う見学を行っている。中須山の管理用道路のうち、井出を渡る橋や通路の木の製の部分については、設置から



鼻ぐり井手

20年が経過し、老朽化がみられる。ボランティアガイドが安心して案内できるよう随時修理し、安全対策を行う。樹木の伐採については、鼻ぐり井手そのものが指定されている面積が1万5千平米もあり管理する部分できちっと見せたい必要な部分については伐採を考えている。

その他の質問

・教職員の働き方改革について

Q 国民保護法に基づく当町の取り組みは

A 国民保護計画の見直しを行い、住民避難誘導計画作成に取り組む



布田 悟 議員



Q 「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」は平成16年に成立・交付されている、いわゆる「国民保護法」は、有事の際の地方自治体の取組として、住民の避難措置や災害への対処などにつき国民保護の計画を立案・整備する事になっているが、当町の取組は。

A 国民保護における町の役割は、武力攻撃やテロ等事案認定時に、国の指定で対策本部を設置し、町長が本部長として総合調整を行い、警報通知避難誘導、安否確認・救援、武力攻撃災害への対処、住民生活の安定・復旧などを措置する事である。

防災行政無線を活用した全国瞬時情報伝達システム（Jアラート）による情報伝達訓練は毎年実施されているが、弾道ミサイル落下時の避難行動については住民への周知が不足しているため、広報誌への記事記載を行い、自治会、学校などでの避難訓練も習慣化できるよう支援していく。

Q JASSMの第二工場誘致の目的と理由は何か。

A 国の経済安全保障への貢献、数兆円と言われる経済効果だけでなく、町内事業者や地域の活性化、雇用創出、企業立地の相乗効果、税収増加による財源確保など。

Q 外国人の公共施設や店舗の利用におき、英語、中国語、韓国語などによる利用の仕方や店の案内などの表示が必要と思われるがどうか。

A 現在は各店舗などではアプリによる多言語化対応をしていると聞くが、町としても商工会などを通じ、何らかの支援策を講じる必要がある。

Q 雇用の場の創出が期待されるが、町内の中学生も菊陽で働き、生活したいと子ども議会でも要望している。どう思うか。

A 高レベルの知識を得るために学力の底上げが必要だ。英語教育の充実、国際社会に通用できる人材育成が必要。

菊陽で就業できる受皿づくりのためにも多種企業の誘致は必要である。

Q 第二工場の誘致は、ますます住民生活や子供の通学などに

おける普段の安全が脅かされる。どう対処するか。

A 「地域産業構造転換インフラ整備推進交付金」を活用したインフラ整備を推進し、企業の時差出勤、セミコン通勤バスの輸送力強化、通勤者への注意喚起などのソフト事業の展開や、生活道路への通勤車両の抑制を図り、住民生活の安全を確保していく。

Q 今まで問題となっていた交通渋滞問題や水の問題などに関係するインフラ整備がTSSM Cの進出でスピードアップされることになった事は評価される。その整備は周辺市町村と一体となったシリコンバレー構想の中で進んでいるのか。

A 熊本地震からの創造的復興の核としてシリコンバレー構想があった。先般出た「新大空港構想」の中ではセミコンテクノパークを核として広い意味での大空港構想のエリアの中で、今後のシリコンアイランド九州の復活というものが進むものと考えられる。



熊本から世界へ

北朝鮮による日本人拉致問題について

Q 拉致被害者の横田めぐみさんが中学1年生のとき新潟市内の自宅付近で北朝鮮工作員に拉致されて46年が過ぎた。

当町には、北朝鮮による拉致被害者で九州学院出身の松木薫さんの姉斎藤文代さんが生活されているが過去には区長会からの要請でご家族への支援も果たした。

私も年に3回ほど熊本市内中心に拉致被害者救済に向けての署名活動をしているが、若者たちの無関心が目立つ。

拉致問題は、北朝鮮という「国家による人権侵害」の最たるものである。この問題について小中学校の児童生徒への認識・啓蒙活動は如何か。

A 人権学習の中で、DVD「めぐみ」の視聴や外務省や拉致問題対策本部作成の資料を用いた社会科学の中で、北朝鮮による日本人拉致問題は、重大な人権侵害であるとの認識を深め、人権尊重の意識や態度を育てる指導を行っている。尚、アニメの視聴については校長会も含め100%達成をお願いしている。

Q 本町独自で防犯カメラを直接設置すべき

A 設置主体や設置方法について、検討や協議を始めている



鬼塚 洋 議員



Q 防犯カメラの有用性について本町の認識は。

A 早期の事件解決や交通事故対策等、極めて有効な防犯力向上のツールと考えている。

Q 本町に対する防犯カメラ設置の要望や申請状況は。

A 本町では、大津地区防犯連合協会連合会を通じて、間接的に防犯カメラの設置費用を補助しており、本年度は42件の申請に対して、10件の補助金を交付している。

Q 今後、補助件数を増やすか、本町独自で防犯カメラを直接設置すべきではないか。

A 連合会においては、業務負担等の制約もあり、補助件数の増加には至っていない。町としても、補助件数が少ないことは

Q 空家等対策計画の取り組み状況と課題は。

A 目標値に達していない点について、今後、関係機関と協議を進めていく。

Q 本町の空家等対策計画が本年、最終年度を迎えるが、具体的な目標値に照らし、①空家等の発生予防、②空家等の利活用

の促進、支援、③管理不全や空家等の解消への取り組み状況は。

A ①町民からの相談が少なく、今後はホームページ等で啓発を行っていく。②現状、利活用の実績がなく、今後は空家バンク制度の創設に向けて準備を進めていく。③空家等の所有者の特定や文書による指導の甲斐もあり、現在、本町には特定空家等に該当する建物はない。

Q 空家等に関する課題をどのように捉えているか。

A 本町の空家率は3.4%と、全国や熊本県の平均と比べてかなり低い。しかし、本町では、空家等の適切な管理及び利活用ができる民間事業者との連携体制が構築できておらず、今後、空家対策協議会を開催し、様々な課題解決に向けて取り組んでいく。

Q 地域おこし協力隊の活動状況と、今後の増員は。

A 現在、2名の隊員を選任しており、今後、必要に応じて増員も検討していく。

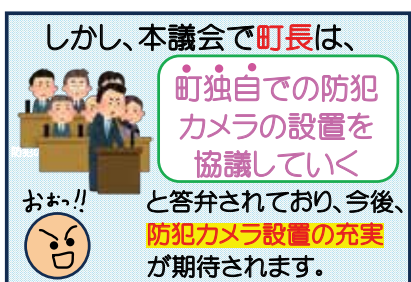
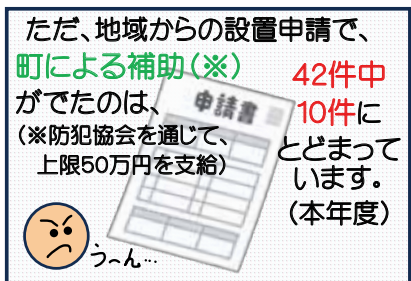
Q 地域おこし協力隊の活動状況はどうか。

A 昨年より2名の隊員を選任し、総合交流ターミナルのマーケティングに関する活動や、農産物イベントの企画等の業務を任せている。

Q 外国籍の住民の増加を踏まえ、多文化交流の点からも隊員を増員できないか。

A 今後、本町の催し事の実施状況を踏まえ、増員についてしっかりと議論していく。

防犯カメラをもっと町に！



その他の質問

- ・商店街等の活性化に向けた本町の支援状況
- ・商店街等に対する支援の拡充

**Q** 菊陽町の灌水の計画はどのように考えているのか

**A** 営農の合間に灌水事業を推進しながら、水稲作を推進していく



佐々木理美子 議員



大津町瀬田地区灌水事業

**Q** 企業を受け入れる菊陽町での灌水事業が遅くなっているのは何か理由があるのか。

**A** 本町における冬の営農体系は、人参が最も多い。本町において、冬期灌水が可能な地区や地域は今のところ見当たらない。本町では、営農の合間の灌水事業を推進しながら、水稲作を推進していく。

**Q** 水循環型営農推進事業はどのように見直しているのか。

**A** 水循環協議会で地下水涵養事業をさらに推進するに当たり、見直しが行われている。

1つ目に水張の実施期間拡大。冬期灌水が11月1日〜翌年2月末まで灌水を実施できるよう検討。

2つ目は、助成金額を引き上げる検討。

3つ目は、水稲作の作付の前後の事業取組の検討。

令和6年から取り組めるよう準備が進められる。

**Q** 自主防災組織と防災士、地域と結びつける会議、研修をすべきではないか。

**A** 防災士と自主防災組織をつなげる活動を今後も行おう。

**Q** 定期的に防災訓練、避難訓練を行っているところもある。この訓練に防災士が加わることで、地域の防災点検、救命活動訓練にプラスとなり、総合的な訓練になるのではないかと。自主防災組織と防災士、それか

ら地域の区長との会議をすべきだと思いがどのように考えるか。

**A** 自主防災組織は、自分たちの地域は自分たちで守るという地域住民の連帯感に基づき自主的に結成された。防災士は、防災に関する専門的な知識を地域の自主防災組織の中で防災リーダーとして、自治会での相談役として機能してもらう必要がある。町としては、防災士の皆さんに地域に密着した活動を行い、地域の防災力強化を図ってもらうよう、防災士と自主防災組織をつなげる活動を行っている。



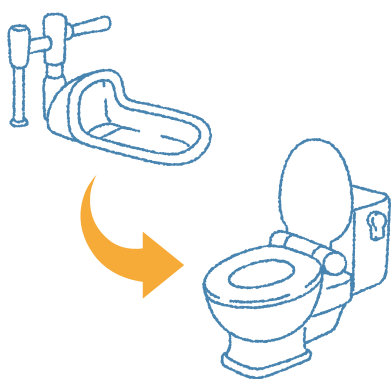
**Q** 町内の学校の体育館、町民センターのトイレの洋式への整備は。

**A** 早期に整備していく。

**Q** 小学校の体育館のトイレが和式で困ったとの声を聞き、町内の全ての施設の整備状況を調査した。町民センターでも整備が必要な施設があったが、町はどう計画するのか。

**A** 便器の洋式化が未整備の菊陽西小学校は先行工事として令和6年度に洋式化する。

西部町民センターのトイレの整備は、期間を早めて令和6年設計業務を行い、令和7年度に改修工事を行う。





Q 給食無償化について、今後どう進めていくのか

A 給食費の無償化については、令和7年度から完全無償化にとりくむ



小林くみ子 議員



Q 給食費の完全無償化が、令和7年度から実施予定であるということは、歓迎である。町の給食がセンター方式ではなく、自校方式であることも大事にしてほしい。今、給食費として月千円の補助が実施されているが、令和6年度はどうなるのか。

A 令和6年度は、物価高騰による給食食材の値上がり分も含め、保護者の負担軽減を計れるよう今年度より手厚い支援を考えている。補助金額は、予算を編成する中で、決定していく予定である。また、給食費徴収の公会計化についてもやり方を検討しており、令和6年度は準備期間とする。

Q 給食費無償化の財源は、従来通り「ふるさと納税」を考えているのか。

A 当初は、「ふるさと納税」を考えていたが、総務省の制度の転換で、ふるさと納税事業ではむずかしいと考え、税収をみながらいろいろなやり方を検討する。

Q 重度心身障がい者医療制度については、現在医療費については、償還払い（役場に医療費助成の申請が必要）方式になっ

ているが、役場に申請せずに、医療機関の窓口で支払いができる現物給付方式にしてほしいという要望があり、変更できないか。

A 健康保険などを取り扱っている「国民健康保険団体連合会」及び「社会保険診療報酬支払基金」「後期高齢者医療広域連合」と協議を行い、重度心身障がい者医療費助成受給者証の更新が行われる。令和6年8月頃の実施できるよう準備している。

制度の紹介

重度心身障がい者制度とは

重度心身障がい者医療制度は、身体障がい者1級、2級に該当する人など重度の障害をお持ちの方を対象に、診療を受けた同一月分の1医療機関などにつき、通院の場合が、1020円を超える額、入院の場合が、2040円を超える額を助成する制度である。

Q 介護保険は、いままで赤字になっていない。介護保険のスタート時には、約3千円の保険料だったが、次期の改定時に5千961円になればほぼ倍になる。介護保険というのは、家族で担っていた介護を社会で担うための制度だ。保険料が上がれば、利用料も倍になるというのでは、保険料を納めてもサービスを受けられるか不安だ。介護の必要の方は、保険料、利用料に加えて医療費も負担が大きい。町として介護保険料、利用料の負担軽減ができないか。

A 国では、市町村が単独で介護保険料の減免を行う場合の3原則を周知しており、「介護保険料減免分に対し、一般財源の投入を行わない」というのが原則の一つである。町もその原則を守る考えで、国の政策の範囲内での軽減を考えている。

※一般財源からの繰り入れは行わないという町の考えだが、繰り入れをしている自治体もあり、一般財源からの繰り入れを行っても、保険料を上げるべきではない。



介護予防教室の様子



介護予防教室の様子

# 常任委員会報告



- 総務住民生活常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 経済産業建設常任委員会

## 総務住民生活常任委員会

委員長・廣瀬英一

令和6年1月16日～17日まで福岡県の荻田町、新宮町に委員5名、行政職員2名の計7名で、菊陽町の課題である交通問題、多文化共生社会などの取り組みについて、行政視察研修を行った。

### 荻田町（1月16日）

#### 多文化共生の取り組み

- ①外国人向けガイドブック作成（英語、中国語、韓国語、ベトナム語）
  - ②多文化共生推進イベント開催
  - ③意識調査（外国人から見た日本人・日本人から見た外国人）
  - ④多文化共生行動計画・推進プラン
- 3つの基本目標を掲げ行動
- ・地域（心を通わす絆づくり）
  - ・環境（安心安全のくらしづくり）
  - ・人（だれもが主役!!未来をひらくひとづくり）



#### 荻田町の概要

外国人1,409人  
人口37,684人  
人口増減率7.78%  
高齢化率24.6%  
財政力指数1.24  
議員数16名  
議員報酬344千円

#### 交通問題の取り組み

- ①コミュニティバス運行概要
- ・バス料金200円（子供等半額）
- ・ミライロID（障害者向け）
- ・バス4台町所有（業者へ無償貸与）
- ・町負担額約3,800万円

### 新宮町（1月17日）

#### 交通の取り組み

- ①コミュニティバス運行概要
- ・バス料金100円（当面見直し無）
- ・バス6台町所有（業者へ無償貸与）
- ・町負担額 約5,400万円
- ②交通難民対策
- ・運転免許証自主返納の特典（70歳以上）マリンクス回数券20,000円分（相らんど線、山らいず線に乗りできる）または、交通系ICカード15,000円分交付
- ③渋滞緩和策
- ・右折レーン設置（用地買収等）
- ・交差点信号周期見直し（警察協議）
- ・都市計画道路整備
- ・公共交通機関の利用促進（駐輪場整備）
- ・敷地内で転回可能な駐車整備



#### 新宮町概要

人口33,251人  
人口増減率8.5%  
高齢化率19.6%  
財政力指数0.8  
議員数12名  
議員報酬264千円

## 文教厚生常任委員会

委員長・大久保輝

【研修先】台湾新竹県宝山郷  
【日程】11月24日～26日

本町と友好交流協定を締結している台湾の新竹県宝山郷へ、本議会より、議長及び本委員会正副委員長の3名で、文化交流等に関する視察を行った。同協定の効果もあってか、本年9月より、熊本・台北間の直行便が就航しており、初日は熊本空港を出発し、台湾の桃園空港へ到着後、宝山郷へ移動した。夜には、学校施設を利用した懇談会場にて、宝山郷職員らと地域住民らが交流するイベントに参加した。宝山郷長や新竹県の県議の方なども出席される中、我々は過分なる歓待を受け、懇親と交流を深めることができた。



翌日は、40年ぶりの開催となる三郷の総合運動大会に来賓として出席した。同大会では、運動会以外にも、飲茶や音楽、陶芸等、文化祭的な催しも行われており、これらを郷長自ら案内いただいた。運動会には台湾のマスコミ各社が取材に来ており、菊陽町と宝山郷との今後のさらなる交流について、議長より意見を申し上げた。取材内容はマスコミを通して台湾の方々へ発信されており、台湾における菊陽町の認知度を大いに高めることができた。その後、宝山郷公所（こちらで言うところの役場）を訪問し、午後には新竹サイエンスパーク周辺を視察し、TSMCの立地状況や工場周辺の交通状況を視察した。



経済産業建設常任委員会では、今期の議会中の12月12日に常任委員会全員で担当課職員と、委員会関連の町の事業の熊本北部浄化センターと光の森駅前歩道橋の建設現場、菊陽空港線の延伸途中にある堀川の高架橋予定現場、南部地域の害獣対策の電気柵の視察をおこなった。

まず町民のみなさまの関心の高い下水処理を行っている熊本北部浄化センターは、菊陽町だけではなく、熊本市や合志市の下水の処理も行っている。現在一日7万トンの処理を行っているが、最大9万8千60トンの処理能力があり、更にまだ未使用の処理槽もあり、早急に処理に困る現状ではない事が確認できた。また、処理過程で発生する汚泥は、肥料として再生されている。また消化ガスが発生するが、バイオ燃料として、発電がなされていた。

## 経済産業建設常任委員会

委員長・矢野厚子



熊本北部浄化センター

光の森駅前歩道橋は1月30日の開通を目指して、着々と工事が進んでいた。完成すれば雨の日の利用者にとって、傘をささずに荷物を持てるので、嬉しいことではないかと思われる。



光の森駅前歩道橋

菊陽空港線延伸の鉄砲小路の堀川を渡る現場では、堀川の流れを移動させて橋脚の土台となる地盤工事が行なわれていた。工事がし易いように水量の少ないこの時期を選んでの工事となっている。完成すれば今後多数の車両が通る場所なので、現場は更に慎重さが求められる工事となっている。



堀川の工事現場

空港下の戸次地区の畑に設置された電気柵の状況を確認した。鹿が民家の庭にも出没をして、困っている状況だが、電気柵を設置した畑は、鹿もイノシシも進入できないとのこと。で、電気柵の有効性が確認できた。まだ未設置の畑もあり、担当課から農家の方への更なる周知をおこない、予算の有効な執行が出来るように注視をしていきたい。



戸次地区の畑

今後も委員会として、町の予算の健全で有効な活用状況を、現地視察をしながら確認を行っていく。

# 研修報告

## 令和5年度町村議会広報研修会

担当：吉村 恭輔

開催日：令和5年11月10日（金）  
 場所：熊本県市町村自治会館  
 講師：議会広報ファシリテーター  
 熊本大学客員教授 越地 真一郎氏  
 演題：「少しは化けましたか  
 創意、熱意の取り組みに学ぶ」

- ① 広報作成のポイント
- ② 全国上位議会に学ぶ
- ③ 討論型クリニック（4町村）

### 感想

クリニックで発表された4町村はページ数は同じ16ページだったが、色の使い方が少ない物や、文章ばかりでイラストや写真が少ない物は、読みづらいと感じた。

見出しインパクトがある記事には自然と目が行くが、見出しが弱いと読んでもらうのはむずかしいのではないかと感じた。

今回の研修で学んだ事を参考に今後の議会だより制作に生かしていければと思います。



## 熊本県町村議会議員研修会

担当：西本 友春

開催日：令和6年1月23日（火）  
 場所：菊陽町防災センター 2階災害対策本部室  
 講師：地方議員研修講師 川本 達志氏  
 演題：地方議員のための役所を動かす  
 質問の仕方

令和5年度第2回熊本県町村議会議員研修会ZOOM会議で開催されました。一般質問は、各議会の会議規則で定めたもので、議会の意志でやり方は変えることができる。一般的な一般質問は

- ① 政策提案型（この型の質問が大半）
  - ② 課題・責任追及型
  - ③ 自己主張型
- 政策提案型一般質問の在り方では、
- ① 現状把握のためより多くの住民の意見（エピソード）を集めて分類しまとめる。
  - ② データを整理し、客観的事実として提示（ネット上の情報（文書・論文・統計）・アンケートやエビデンス）
  - ③ 課題解決のための政策・施策（改善や創設）を提案することが大事であるとの事でした。



## 令和5年度阿蘇くまもと空港周辺4ヶ町村議会議員研修会

担当：吉村 恭輔

開催日：令和6年1月26日（金） 16時  
 講師①：熊本国際空港株式会社代表取締役

社長 山川 秀明氏  
 山川氏は「阿蘇くまもと空港の現状と地域共生の取り組み」三輪氏は「TSMCの進出の影響と課題・対応について」を演題に講演されました。

山川氏からは、空港の利用者数の推移や地域への助成事業、今後の施設整備計画等の説明があり、地域と一体になって空港を発展させたいとの想いを感じました。

講師②：熊本県商工労働部長 三輪 孝之氏  
 三輪氏からは、TSMC進出により起きた課題、特に地下水や渋滞問題に対する県の取り組み等の説明があり、県がしっかりと取り組んでいる事が理解できました。



# 議会の活動状況

## ● 議長の公務記録

日付	事業・イベント名	主催者	場 所
10月 2日	公文書押印		議長室
10月 3日	厚真町視察研修来庁対応（挨拶） 公文書押印	菊陽町	防災センター 2 階 議長室
10月 4日	公文書押印		議長室
10月 5日	屋久島町来庁 懇談会	菊陽町	やまもと
10月 6日	総合体育館落成式 来賓出席（挨拶）	菊陽町	総合体育館
10月 7日	健康ウォーク	社会福祉協議会	杉並木公園
10月 8日	夢街光の森会 秋祭り 来賓出席	夢街光の森会	ひかりのもり公園
10月10日	公文書押印 区長会理事と意見交換会（挨拶）	広聴特別委員会	議長室 三里木町民センター
10月11日～ 12日	公文書押印		議長室
10月15日	武蔵ヶ丘コミュニティセンター祭 来賓出席（挨拶）	武蔵ヶ丘コミュニティセンター利用者協議会	武蔵ヶ丘コミュニティセンター
10月16日	公文書押印		議長室
10月17日	公文書押印 熊本県日韓親善協会設立60周年記念事業 及び祝賀会	熊本県日韓親善協会	議長室 熊本ホテルキャッスル
10月20日	公文書押印		議長室
10月23日	行政と政策協議	議長、副議長、議運委員長	正副議長室
10月26日	公文書押印 副町長と議案審議		議長室 議長室
10月27日	広域連合議会第 2 回定例会 菊陽町造園協会 親睦懇親会（挨拶）	菊池地域広域連合 造園協会	菊池地域広域連合 中村屋
10月29日	防災フェスタ2023	菊陽町	総合体育館、杉並木公園さんさん、 スポーツ広場
10月30日	臨時会	菊陽町	議場
	全員協議会	議会	委員会室
	議会運営委員会 会議	議会運営委員会	正副議長室
	ルーテル学園長 来庁対応 （インターナショナルスクール開設報告）	町長、副町長、教育長 福島	町応接間
11月 1日	九州地方整備局 要望活動	菊陽町	福岡
11月 3日	菊陽町文化祭 来賓出席（挨拶）	菊陽町	図書館ホール
11月 4日	ヴォルタース戦 来賓観戦		総合体育館
11月 6日～ 8日	菊池広域連合議長研修	菊池広域連合議長会	東京、茨城
11月 9日	国土交通省（要望活動）	菊陽町	東京
11月10日	公文書押印		議長室
11月11日	すぎなみフェスタ 2023 来賓出席（挨拶）	菊陽町	スポーツ広場
11月12日	働く婦人の家講座発表会 来賓出席（挨拶）	働く婦人の家利用者連絡協議会	三里木町民センター
11月13日	公文書押印		議長室
11月15日	空港周辺 4 ケ町村議長・事務局長会議	空港周辺 4 ケ町村議長会	西原村役場
11月17日	公文書押印		議長室
11月19日	鼻ぐり井手祭 来賓出席（挨拶） 三里木商工繫栄会さんま祭り（挨拶）	鼻ぐり井手祭実行委員会 三里木商工繫栄会	鼻ぐり井手公園 三里木駅前広場
11月20日	熊本県、合志市、菊陽町における 半導体関連産業の集積に伴う排水対策に向けた 協定締結式	熊本県、合志市、菊陽町	県庁（知事応接室）
11月21日	政策協議	副町長、肥後銀行	正副議長室
11月22日	公文書押印		議長室
11月24日～ 26日	台湾研修 （文教厚生常任委員会正副委員長同行）		
11月27日	議会運営委員会 会議	議会運営委員会	委員会室
	共同通信社 取材インタビュー		議長室
	公文書押印		議長室
11月28日	県関係国会議員へ要望・意見交換会	熊本県町村議会議長会	全国町村会館
11月29日	全国町村議会議長全国大会 要望活動・研修会	全国町村議会議長会	NHKホール
11月30日	公文書押印		議長室
12月 1日	菊陽町老人クラブ芸能大会 来賓出席（挨拶）	菊陽町老人クラブ連合会	老人福祉センター
	菊陽町建築組合講演会・懇親会来賓出席（挨拶） 公文書押印	菊陽町建築組合	さんふれあ 議長室

# 議会の活動状況

## ● 議長の公務記録

日付	事業・イベント名	主催者	場所
12月 2日	人権子ども集会	菊陽町・教育委員会・人権教育推進協議会	菊陽中学校校体育館
12月 4日	大相撲菊陽場所	菊陽町	総合体育館
12月 5日	令和5年第4回定例会 開会	菊陽町	議場
12月 6日～ 8日	令和5年第4回定例会 一般質問	菊陽町	議場
12月11日	交通混雑緩和・解消特別委員会研修 講師：県企業立地課長元田啓介様	交通混雑緩和・解消特別委員会	防災センター 全議員対象
12月12日	令和5年第4回定例会・常任委員会	各常任委員会	
12月13日～ 14日	公文書押印		議長室
12月15日	令和5年第4回定例会	菊陽町	議場
	全員協議会	議会	委員会室
12月18日～ 19日	公文書押印		議長室
12月20日	菊池広域連合 定例会・全員協議会	菊池広域連合	菊池広域連合 議場
12月21日	熊本市計画区域マスタープラン検討委員会	熊本県土木部道路都市局都市計画課長	県庁 防災センター
	公文書押印		議長室
12月24日	ポップサーカス 来賓観戦	KKT	杉並木公園さんさん
12月27日	年末警戒激励巡視出発式・激励巡視	菊陽町・菊陽町消防団	防災センター研修
12月28日	公文書押印		議長室

## ● 議会運営委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場所
10月30日	議会運営委員会	議会運営委員会	委員会室
11月27日	議会運営委員会	議会運営委員会	委員会室
12月 6日	議会運営委員会	議会運営委員会	委員会室
12月 8日	議会運営委員会	議会運営委員会	委員会室

## ● 総務住民生活常任委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場所
12月16日	総務住民生活常任委員会	常任委員会	現地視察

## ● 文教厚生常任委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場所
10月 7日	健康ウォーク（委員長として出席）	社会福祉協議会	杉並木公園さんさん
10月25日	菊陽町健康づくり推進協議会（委員長として出席）	菊陽町健康づくり推進協議会	杉並木公園さんさん
12月26日	菊陽町社会福祉協議会評議員会（委員長として出席）	菊陽町社会福祉協議会評議員会	社会福祉協議会

## ● 経済産業建設常任委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場所
11月 1日	農政課会議（委員長として出席）	農政課	防災センター
12月12日	経済産業建設常任委員会現地視察	常任委員会	現地

## ● 広報委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場所
10月 3日	広報委員会（9月議会だより1校作成）	広報調査特別委員会	委員会室
10月17日	広報委員会（9月議会だより2校作成）	広報調査特別委員会	委員会室
10月31日	広報委員会（9月議会だより3校作成）	広報調査特別委員会	委員会室
11月 2日	広報委員会（9月議会だより4校作成）	広報調査特別委員会	委員会室
11月 9日	広報委員会（9月議会だより最終校作成）	広報調査特別委員会	委員会室
11月10日	町村議会広報研修会	熊本県町村議会議長会	熊本県町村自治会館

## ● 交通混雑緩和・解消に関する特別委員会

日付	事業・イベント名	主催者	場所
12月 6日	第4回 特別委員会開催	交通混雑緩和・解消に関する特別委員会	委員会室
12月11日	交通混雑緩和・解消に関する県の取り組み状況説明会	交通混雑緩和・解消に関する特別委員会	防災センター2階災害対策本部室

# 二十歳の声

今年度、菊陽町二十歳の成人式に参加された方に抱負や菊陽町に対する思いなどを聞いてみました。



20歳となり、人生の新たな章を迎えました。今まで支えてくれた友人や家族には大きな感謝しかありません。本当にありがとうございます。

今後は愛情や思いやりを大切に、周りとの共感を深めることで、私の周りにいる人を今まで以上に大切にします。

自分の夢や目標に向かって進む中で、達成感や挫折といった経験を通して、内面の成長もしていきたいです。

これからの10年は自分を知り、自らの原点を見つめ直す成長の時期と捉え、様々な可能性を追求していきます。

これからも菊陽町が素敵な町であり続けますように。

ますだ みさき  
**増田 彩希**

今回の成人式は大変多くの方々のお力添えがあつてのものだと思います。

本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

抱負としては、これまでの人生数え切れない人から恩をもらい今の自分がいます。これからの人生は受け取った恩を次の世代の人たちに与えていく立場になって愛される大人になっていきたいです。

もり だいや  
**森 太哉**



私はたくさんの人に支えられて生きてきました。家族、先生、友人たちのおかげで成人式を迎えることができました。今まで支えてくれた人に感謝していきたいです。私にとって菊陽町で出会った人々は宝物です。これからは私が支える立場です。お世話になった家族、友人に恩返ししていきたいです。

べっぶ しんのすけ  
**別府 真之介**

今まで支えてきてくれた家族や友人のおかげで、成人の日を迎えられたことをとても嬉しく思います。

今日の式典を通して自分がたくさんの人に助けられながら過ごしてきたことを改めて感じる事が出来ました。いつも励まして支えてくれた家族やどんな時でも隣にいてくれた友達、小さなころから温かく見守ってくださった地域の皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも周りへの感謝の気持ちを忘れずに自分の夢に向かって精一杯頑張りたいと思います。

まつむら はな  
**松村 華**





## 町の歴史を継承する

### 令和5年度熊本県文化財功労者表彰

町文化財保護委員の前田千佳子さんはこれまで古文書講座、文化財ボランティアガイド養成講座、歴史講座などの講師として活動されるなど、町の文化財の保存、歴史の継承に尽力されていることに対し、表彰されたものです。表彰を受けた、前田さんにメッセージを寄稿していただきました。



文化財功労者表彰を受ける前田さん

## 文化財の保存、活用の道

文化財保護委員 前田千佳子

昭和53年に文化財保護委員会が発足して46年になり、現在19件の町指定文化財があります。「馬場楠の獅子舞」が津森神宮おほし祭の構成要素として平成30年に、「馬場楠井手の鼻ぐり」は平成31年に県指定文化財となりました。町、県指定文化財が今の姿を保つのは、先人の方々のたゆみない努力があったからだと思います。

文化財は、町の歴史を物語る貴重な財産だと思っています。政治家で文部相や外務相、首相を務めた西園寺公望（1849～1940）の先祖で、西園寺家第25代当主の随宜（1625～1670）が、どうして古閑原に眠っているのでしょうか？八ヶ所地筒と言えば、その一ヶ所が寛永12（1635）年に創設された「鉄砲小路」です。その歴史を知る手がかりとして、「諸御用日記」があります。

そうした、町の歴史につながる文化財を守り、保存していく上で、地元の方々にお願ひするだけでよいのでしょうか？行政や文化財保護委員の力だけでは限りがあります。旧村の方々は勿論、新しく菊陽町民になられた方々と共に歴史や文化財についての学びの場が必要です。その上で保存活用していくことが大切だと思っています。

また、未指定の文化財も、地元の方々にとっては大事な歴史遺産であることも、私たちは忘れてはならないと思います。



西園寺随宜の墓



鉄砲小路の諸御用日記等

## 編集後記

馬場 功世

元旦に能登半島で最大震度7の地震が発生しました。亡くなられた方にお悔やみを申し上げますとともに、被災された方にお見舞い申し上げます。1日でも早い復旧復興を祈念します。

議会では、一般質問や行政の答弁もむずかしい言葉が飛び交います。また、熊本弁丸出しで、標準語に訳するのに苦労する内容もあります。今回から一般質問の項では半ページから1ページに増やし議会の質疑応答が詳細に表現できるようにしました。少しでも読者の皆様に分かりやすい文章になるよう、気を付けて、文字が多すぎないよう写真やイラストを多く使うようにしています。

議会や議会だよりに対するご意見、ご要望がありましたら広報委員会までお寄せください。

みなさんの 傍聴を お待ちしています。

### 議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会の広報委員が写真撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願い致します。

### 発行責任者

議長 福島 知雄

### 編集者

委員長 西本 友春

副委員長 藤本 昭文

委員 廣瀬 英二

委員 馬場 功世

委員 吉村 恭輔

委員 鬼塚 洋

この議会だよりは再生紙を使っています。